

下井草駅周辺まちづくりニュース第13号



(仮称)下井草まちづくりラボ の参加者を追加募集します！



道路と鉄道の連続立体交差化を契機とした下井草駅周辺のまちの将来像について幅広い世代の方々と意見交換するために、昨年度に引き続き(仮称)下井草まちづくりラボを開催します。

この度、より多くの方々と意見交換をするために、参加者を追加募集します。



日時

第11回「旧早稲田通りの安全化について」

令和8年 6月20日 (土) 午前 9時 ~ 12時

第12回「下井草駅周辺の商業やにぎわいについて①」

令和8年 9月19日 (土) 午前 9時 ~ 12時

第13回「下井草駅周辺の商業やにぎわいについて②」

令和8年 10月24日 (土) 午前 9時 ~ 12時

第14回「これまでのまとめ」

令和9年 1月16日 (土) 午前 9時 ~ 12時

※テーマは現時点での予定です。

※途中の回からでも参加可能です。

申込方法

- 申込フォームによるお申込み
右記、二次元コードからお申し込みください。
- はがきファックスによるお申込み
(1) 氏名(ふりがな) (2) 郵便番号・住所
(3) 年齢 (4) 電話番号 (5) E-mailアドレス
(6) 手話通訳・託児サービスの必要の有無などの配慮してほしいことを明記の上、下記のお問い合わせ先までお申し込みください。

- 申込締切：令和8年6月15日(当日中必着)

※手話通訳・託児サービス(対象：生後7か月～就学前)のご利用を希望される方は、6月8日(月曜日)までにお申し込みください。



申込はコチラ

対象

下井草駅周辺まちづくりに興味のある

- 10歳以上の方
- 区内在住・在勤・在学の方

定員

約60名程度(うち、無作為抽出含む)

場所

杉並区立桃井第五小学校体育館
(下井草4-22-4)

西門側からお越しください。

- お車でのご来場はご遠慮ください。
- どなたでも見学・傍聴することが可能です。



問い合わせ

杉並区 都市整備部 市街地整備課 鉄道立体係 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
TEL 03-3312-2111(内線3386) FAX 03-3312-2907

資料

「下井草駅周辺まちづくり」の資料などは区公式ホームページ(右記二次元コード)からご覧いただけます。



【裏面あり】

令和7年度 下井草駅周辺地区まちづくり オープンハウスを開催しました！

令和7年度に実施した（仮称）下井草まちづくりラボでは、「旧早稲田通りの安全化」「駅前広場・交通結節点のあり方」「みどりと景観」の3つをテーマに、下井草らしさに着目しながら、下井草駅周辺のまちの将来像について意見交換を重ねてきました。

まちづくりオープンハウスでは、（仮称）下井草まちづくりラボにおけるこれまでの取組内容や、令和7年度のラボの内容を地域の方々へ広く共有することを目的に、パネル展示を行いました。

なお、本オープンハウスでは、区職員に加え（仮称）下井草まちづくりラボの参加者が地域の方々へ直接説明し、意見交換を行いました。

開催日時

令和8年2月14日(土) 午前10時～午後3時

参加人数

111名

会場

下井草駅南口駅前広場



～いただいた主なご意見～

旧早稲田通りの安全化



- ・歩道が狭く通りにくいため、歩道の拡幅や車道との明確な分離など、安全性の向上を図ってほしい。
- ・段差や電柱により、車いすや傘を使った通行が困難な状況があり、バリアフリー化や無電柱化を進めてほしい。
- ・一方通行化は安全面で効果が期待できる一方、生活の不便さや周辺道路の渋滞への懸念もあり、慎重な検討が必要。

駅前広場・交通結節点のあり方



- ・西武新宿線の立体交差化により、南北方向の交通が円滑になり、新たに生まれる空間の利活用に大きな期待がある。
- ・タクシーや乗用車とバスの動線が分かれていると便利だが、駅近くの商店街との両立には工夫が必要だと感じる。
- ・みどりを多く取り入れ、誰もが集えて、くつろぎ、会話ができる空間にしてほしい。

みどりと景観



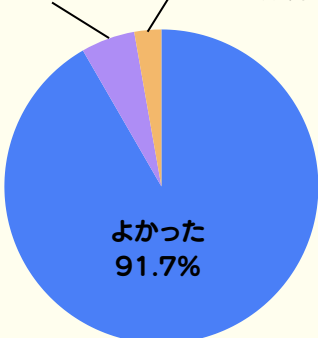
- ・商店街の中に木陰や花壇があることで、交流が生まれ、まちなみの魅力向上につながる感じる。
- ・夏でも快適に歩けるよう、樹木の配置や高さ、樹冠率※を工夫し、休める場所を確保してほしい。
- ・みどりを活かしつつ、防犯に配慮した街灯設置など、安全面との両立を図ってほしい。

※樹冠率……ある区域の面積に対して、上から見た枝葉の広がり占める割合

～アンケート結果～

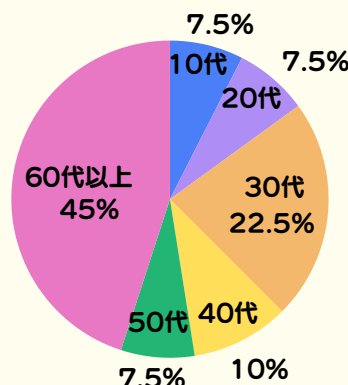
令和7年度のまちづくりオープンハウスの内容について

どちらともいえない 5.6%
よくなかった 2.7%



まちづくりの経緯や内容が分かりやすいとの声を多くいただきました。一方で、より簡潔な掲示を求める意見もありました。令和8年度は、誰にとっても内容が正確に理解できるよう工夫を行い、より多くの皆さまにまちづくりへの理解を深めていただける内容を目指します。

参加者の年代



アンケート結果から、幅広い層の方々にご参加いただいたことが分かりました。今後も引き続き、豊富な経験をお持ちの方々の声と、次の時代を担う世代の方に関心を持っていただけるような意見交換の場を目指してまいります。